

令和7年度 盛岡峰南高等支援学校教職員 働き方改革アクションプラン

～学年・学科・各部が連携して推進する「チーム峰南」～

盛岡峰南高等支援学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

- ・県内唯一の専門学科が設置された高等支援学校であり、県内全域から生徒が集まっている。
- ・進路支援業務、課外活動(週休日における大会やそれに向けた練習、専門教科の学習で製作した製品の展示、販売対応等)、県内各圏域におけるPTA活動対応等、移動距離や対応回数、時間的負担も大きい。
- ・関係各所の本校教育への関心が高く、学校見学や教育相談の依頼件数が多い。
- ・本校の教育理念である「生きがいある豊かな生活の実現」を目指し、各教職員は使命感を持って日常の業務を遂行している。

2 目指す姿

- ・生徒が、学校に通うことが楽しいと感じることができる学校。
- ・教職員が、達成感、有用感を感じ、教育の楽しさを実感しながら各学年、学科が連携して、業務を推進するチームとしての学校。
- ・各教職員が自分のライフプラン、ミッションを意識化し業務を推進する学校。
- ・健全(健康・安心・安全)な学校。

3 取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・勤務時間の正確な把握の取組を確実に実施し、業務の優先順位を見極めながら、長時間勤務の軽減に努めます。
- ・毎月の時間外在校等時間を各人に知らせ、時間外勤務状況を意識し、縮減に努めます。
- ・年間を通じた計画的な業務推進により、繁忙期の時間外勤務時間の縮減と、多忙感の低減に努めます。
- ・管理職が、教職員の健康管理について積極的に面談や声掛けをするなど、メンタルヘルスを含めた健康状態の把握に努めます。
- ・衛生委員会等において、職場環境の在り方や健康保持について意見交換を行い、職場環境の整備を図ります。

○ 学校における業務改善の推進

- ・業務が円滑に進むように、資料データの整理と見直しを行い、作成の簡略化を図ります。
- ・現状の校内業務のスクラップ＆ビルド等について随時検討し、より効果的な業務運営に努めます。
- ・業務の効率化につながるように、組織のあり方を検証しながら、必要な変更を視野に入れて業務を推進します。
- ・様々な事案の未然防止、適切な初期対応ができるよう報告・連絡・相談の徹底を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・本校が事務局を担当する他の支援学校が関わる諸会議等において、連絡調整等の効率化を図るために、学校間における連携協力の一層の充実に努めます。
- ・支援学校のセンター的機能に係る取組について、依頼校や関係機関等のニーズを把握し、組織としての適切な対応に努めます。

4 目標

- ・時間外在校等時間→一人あたり年間平均で月11時間以内
- ・時間外在校等時間年360時間以上の職員→0名
- ・時間外在校等時間月45時間以上の職員→0名
- ・年次休暇の取得日数→一人あたり年間平均取得日数15日以上、1日単位の年次取得5日以上
- ・毎週1回の定時退庁日設定

令和7年4月23日 盛岡峰南高等支援学校長 矢鳴 慶之

(参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの期間】 令和6年度～令和8年度までの3カ年度

【プランの目標】

〈定量的目標〉 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロにする。

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を含む。)が月45時間超、年360時間超の者を段階的に縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間 令和6(2024)年度
月45時間超	前年度(令和5年度)実績より減少
年360時間超	

〈定性的目標〉 業務への充実感や、健康面での安心感の向上、教職員のウェルビーイングの確保

令和8年度において、目標に関連するアンケート項目の肯定的実感が令和6年度から向上することを目指す。